

「社労士だからできる労働CSR実践セミナー ～持続可能な企業と社会のために～」

日時 令和3年11月15日(月) 14:00～16:00 (開場: 13:30)

入場無料
事前登録制



会場 Zoom (事前登録先: 連合会HP会員専用ページ 本セミナー特設ページ)

【セミナー概要】

近年では、労働に関する社会問題が増え、労働CSRへの意識が高まっている。

連合会社労士総研では、2017年度に「社会保険労務士とCSR」を取りまとめ、2020年度には、その意義と実践を示す「労働CSRガイドブック」を作成したところである。

本セミナーにおいては、社労士総研「社労士による労働CSR推進プロジェクト」(以下、「総研「労働CSRプロジェクト」」)という。)メンバーから、労働CSRについて「労働CSRガイドブック」による実践を解説いただく。合わせて、労働CSRへの取り組みの前提としての社会と企業自身の持続可能な価値創造に貢献するCSR経営、その重要要素である人権尊重について学び、社労士の役割に期待される役割とこれからの進むべき道を探る。

プログラム

14:00～14:05 開会の挨拶 大野会長

14:05～14:40 基調講演
「労働CSRと社労士法1条の精神」
吾郷眞一リーダー



あごう しんいち
吾郷 眞一

立命館大学衣笠総合研究機構教授・国際平和ミュージアム館長、総研「労働CSRプロジェクト」リーダー

東京大学法学部卒業。東京大学大学院(修士)、ジュネーブ大学大学院修了(博士)。埼玉大学、ILO(国際労働機関)、九州大学を経て、2013年から現職。専攻は国際労働法、国際法。アジア開発銀行行政裁判所裁判官、ILO条約勧告適用専門家委員会委員。

【概要】社労士総研「社労士による労働CSR推進プロジェクト」のリーダーである吾郷眞一教授に労働CSRの概要と、社労士が取り組む意義について解説をしていただきます。

14:40～14:45 休憩

14:45～15:35 パネルディスカッション「労働CSRガイドブックの意義とその活用に向けて」
(モデレーター: 吾郷眞一リーダー、登壇者: 鈴木均委員、熊谷謙一委員、後藤昭文委員、菊地加奈子委員)

【概要】社労士を含む社労士総研「社労士による労働CSR推進プロジェクト」委員から、労働CSRガイドブックの概要と社労士がどのように持続可能な企業と社会の為に活用することができるのか、解説をしていただきます。



すずき ひとし
鈴木 均

(一財)日本民間公益活動連携機構事務局長、立教大学21世紀社会デザイン大学院客員教授、総研「労働CSRプロジェクト」委員

元NEC CSR推進部長、(株)国際社会経済研究所代表取締役社長。NPO法人サステナビリティ日本フォーラム理事、(公財)日本盲導犬協会評議員。(一社)ソーシャルビジネスネットワーク理事。元(財)日本規格協会ISO SR国内委員会委員、経団連社会的責任経営部WG座長。著書:「ステーキホルダー・レビューによるCSRの経営への統合化促進、企業と社会フォーラム編」(共著)他。



くまがい けんいち
熊谷 謙一

日本ILO協議会企画委員、政策研究フォーラム理事、総研「労働CSRプロジェクト」委員

埼玉大学理学部卒。自動車会社、同社労組、旧労働団体をを経て1987年から連合。労働法制、雇用対策、国際関係、CSR等担当の局長歴任。2009年から国際労働財団副事務長、タイ事務所常務理事等。ISO26000国際起草委員、東京オリパラCSR関係委員等。日本労働法学会会員、「アジアの労使関係と労働法」(日本生産性本部)で日本労働ベンクラブ賞受賞。



ごとう あきふみ
後藤 昭文 (福岡会)

社会保険労務士法人後藤労務管理事務所代表、連合会副会長、総研「労働CSRプロジェクト」委員

福岡大学大学院民刑事法修了。社会保険労務士事務所にて勤務後、2001年4月社会保険労務士事務所を開業。



きくち かなこ
菊地 加奈子 (神奈川会)

社会保険労務士法人ワーク・イノベーション代表、特定社会保険労務士、総研「労働CSRプロジェクト」委員

早稲田大学商学部卒。2012年、第4子出産を機に自ら保育園を開園。また、企業における両立支援のための多様な柔軟な働き方を提案しつつ、働く親と時代を担う子どもたちの家庭生活・職業生活の充実のために保育園の職場環境改善にも携わる。プライベートでは6児の母。

15:35～15:55 質疑応答

15:55～16:00 閉会の挨拶 吾郷リーダー

申込方法

連合会HP会員専用ページ内

「社労士だからできる労働CSR実践セミナー～持続可能な企業と社会のために～」特設ページにアクセスしていただき、事前登録をお願いします。



第4回社労士社会政策研究会 開催のご案内

本研究会は、「労働法制・労務管理」「年金・社会保障」及びこれに関連する研究発表の場の継続的な提供、研究成果の普及・発信を行い、企業の健全な発達や労働者等の福祉の向上に寄与するとともに、社労士の地位向上に貢献することを目的として実施しており、本年度におきましても、以下のとおり「第4回社労士社会政策研究会」を開催いたします。

本研究会は、社労士であればどなたでも参加が可能ですので、ぜひ、ご参加ください。

開催概要	
1 主 催	全国社会保険労務士会連合会
2 参加対象者	会員（社労士であればどなたでも参加が可能です）
3 日 程	令和3年12月1日(水) 13:00~16:40 第1部（基調講演・研究成果発表）13:00~14:55 第2部（分科会）15:10~16:40
4 実施方法	オンライン配信（Zoomウェビナー） ※ご自宅のパソコン等でご視聴ください。
5 参加費	無料
6 定 員	1,000名（先着順）
7 申込方法等	Web申込 ※詳細は連合会ホームページ（会員ページ）内「お知らせ」にてご案内します。
8 申込期間	令和3年10月20日(水) 10:00~予定 ※申込数が定員に達した場合、申込期間内であっても受付を終了します。
9 プログラム	

【第1部】

時間	内 容
13:00	開 会
13:00~13:10	開会挨拶 連合会 大野 実 会長
13:10~14:00	(1) 基調講演 (50分) 講演者：法政大学大学院 政策創造研究科教授 石山 恒貴 氏 テーマ：「人生100年時代、「働きがい」をもって働くことのできる環境の実現にむけて」 ～ミドル・シニアの役割創造を中心に～
14:00~14:10	講義変更のため休憩：10分
14:10~14:50	(2) 研究成果発表 (40分) 講演者：松浦 洋一郎 氏（東京会） テーマ：建設就業者の社会保険未加入を端緒とする不安定就労の考察
14:50~14:55	(3) 研究助成制度に関する説明 (5分) 講演者：社労士総研 村田 毅之 所長
14:55~15:10	第2部へ変更のため休憩（15分）

【第2部】※第2部分科会は、報告者及びコメンテーターによる発表のほか、参加者からのご質問等を受けてディスカッションする形式で実施します。2テーマ同時進行で行いますので、テーマ①②いずれかを選択しご参加ください（両方のプログラムに参加することはできません）

時間	内 容
15:10~16:40	分科会テーマ① 兼業・副業 (90分) 報告者：吉川 洋 氏（京都会）
	分科会テーマ② シニア・ミドルの働き方・社会保障 (90分) 報告者：丸山 美幸 氏（東京会）

【問い合わせ先】

全国社会保険労務士会連合会 社会保険労務士総合研究機構
TEL 03-6225-4870（平日10:00～15:00 ※祝日を除く）